

【本時案】

第1時 (発想や認識をもつ学習活動A)

(1) ねらい

説得力のある意見は、「意見を裏付ける事実」と「意見を支える立場」という2種類の根拠を拠りどころにすることについて考えられるようにする。

(2) 準備

(教師) 学習プリント 「意見と、その拠りどころとなる2種類の根拠 A・B」、同プリントの拡大図(掲示用)
(生徒) 筆記用具、ノート、国語辞典

(3) 展開(7時間中の1時間目)

過程(時間)	学習指導()及び留意点(＊) 十分満足とする状況・態度の児童への支援()	学習活動	具体的評価規準 (評価方法)
確認・意欲付け (5分)	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">どうして作文を書くのか、考えよう。</p> <p>書くことは考えることであり、考えることは自分の日々の生活や将来をより良くするものであること、さらに、考えは明確な根拠を拠りどころとすることにより説得力をもつということを考えさせる発問をする。</p> <p>＊生徒が自分自身の問題として考えられるよう、身近な例を取り上げる。</p>	本時のめあてを知る。	
展開 (10分)	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">意見と、その2種類の根拠について考えよう。</p> <p>黒板掲示の短冊により、日常会話という具体例の意見と「意見を裏付ける事実」「意見を支える立場」について説明しながら考えさせる。</p> <p>＊掲示物を読み、内容を説明しながら記述させる。</p> <p>＊記述ができない生徒に個別に声かけをする。</p> <p>＊発表を促し、その内容を基にして全員で考えを深められるようにする。</p>	黒板の掲示物から、意見と、その根拠である「意見を裏付ける事実」と「意見を支える立場」について考える。	【関・意・態】 ・具体例の意見と、その根拠となる「意見を裏付ける事実」「意見を支える立場」について考えようとしている。(観察・学習プリントの分析)
(15分)	<p>学習プリント「意見と、その拠りどころとなる2種類の根拠 A」を配布しその学習内容について説明する。</p> <p>＊学習プリントで扱われる中学生が書いた作文の具体例としての意見から「意見を裏付ける事実」「意見を支える立場」について黒板で説明し、記述させる。</p> <p>＊記述ができない生徒に個別に声かけをする。</p> <p>＊発表を促し、その内容を基にして全員で考えを深められるようにする。</p>	学習プリントに取り組み意見と、その根拠である「意見を裏付ける事実」と「意見を支える立場」について考え、記述する。	【書く能力】 ・具体例の意見と、その根拠となる「意見を裏付ける事実」や「意見を支える立場」について書いている。(学習プリントの分析)
(15分)	<p>学習プリント「意見と、その拠りどころとなる2種類の根拠 B」で意見の根拠として事実と立場の両方が大切であることについて考えさせ、さらに立場という言葉について考えさせて記述させる。</p> <p>＊学習プリントを読みながら、その拡大図(掲示用)を用いて、内容を説明しながら記述させる。</p> <p>＊事実と立場について考えたことや、立場という言葉について考えたことを発表するよう促し、その内容を基にして全員で考えを深められるようにする。</p> <p>＊記述ができない生徒に個別に声かけをする。</p> <p>学習プリントで、立場という言葉をより深く理解するために国語辞典を引くよう促し、立場をより分かりやすくするためのキーワードを考え記述するよう話す。</p> <p>＊中学生は、社会的な責任を負う立場にない場合が多いため、立場をより分かりやすくするためのキーワードを「行動」と捉えてよいことを話す。さらに、自分の考えを行動に移すことにためらいを感じるものには「努力」という言葉でもよいことを話す。</p>	学習プリントに取り組み意見の拠りどころとなる根拠として、事実と立場の両方が大切であるということについて考え、さらに、立場という言葉の理解を深めるために国語辞典を引いて考えたことを記述する。	【言語事項】 ・立場という言葉を理解するために国語辞典を調べてキーワードを考え、記述している。(学習プリントの分析)
日常化一般化 (5分)	<p>生徒が本時について振り返りやすいように、説得力のある意見をもつためには、どうすれば良いかについて学習したことを、改めて説明する。</p> <p>＊学習内容が生活に生かせることについて話す。</p> <p>本時の活動を踏まえて、次時では、それを発展させることについて説明する。</p> <p>本時の活動を次時の活動に生かせるように学習プリントを回収し、検証する。</p>	<p>本時のまとめを聞いて本時を振り返る。</p> <p>次時の活動について知る。</p>	



【本時案】

第2時 (発想や認識をもつ学習活動A及びB)

(1) ねらい

課題について自分の意見をもった上で、他者の意見を聞いて自分の考えを深める。

(2) 準備

(教師) 学習プリント (生徒に返却する)、同「課題について自分の意見をもとう」、同「身近な話題から『食べる』ことについて考えてみよう」、同「環境問題と『食べる』ことの関わりについて、他者の意見を聞いて自分の考えを深めよう」、学習資料 (約7分のビデオ資料 説得力のある意見)、掲示物、支援カード

(生徒) 筆記用具、ノート

(3) 展開 (7時間中の2時間目)

過程 (時間)	学習指導 () 及び留意点 (*) 十分満足とする状況・態度の児童への支援 ()	学 習 活 動	具体的評価規準 (評価方法)
確認・ 意欲付 け (5分)	前時を振り返って、意見には、それを裏づける事実とそれを支える立場の2種類があることを確認する。 * 前時の学習プリント を返し、前時に用いた黒板掲示の短冊及び新しい掲示物を提示して説明する。 前時の学習を踏まえて、本時では、自分の意見を持ち、それを深めることが学習のめあてになることを話す。	前時を振り返る。 本時のめあてを知る。	
展 開 (10分)	環境問題という課題について自分の意見をもとう。 学習プリント 「課題について自分の意見をもとう」を配布し、課題は環境問題であることを話す。 * 国語の授業で、多くの説明文が環境問題を扱っていたことや日常生活で環境問題に触れる話題が多いことなどの理由により、環境問題は適切な課題であることを、掲示物などを用いて説明する。 課題については、幅広い環境問題の中で、誰にでもなじみの深い「食べる」ことを取り上げることを話す。 * 自分で一番大切だと考えることを意見とし、事実と立場もなるべく書くように話す。 * ここでの意見は今後の学習の出発点であり、学習が進行する中でより深まっていく可能性があるため、この時点で十分に考えられなくともかまわない、という話をする。	学習プリント を基に、2種類の根拠について考えながら、自分の意見をもつ。 課題についてのキーワードを考える。	【関・意・態】 ・他者の意見について話し合い活動で自分の考えを発表したり友達の考えを聞こうとしたりしてる。(学習プリント の分析・話し合いの活動の様子を観察) 【書く能力】 ・自分の意見を持ち、他者の意見の内容とその2種類の根拠について考え、学習プリント に書いている。(学習プリント の分析)
(10分)	学習プリント 「身近な話題から『食べる』ことについて考えてみよう」を配布し、身近な話題はコンビニエンスストアの食品についてであることを話し、プリントの内容を説明して、書かせる。 * コンビニエンスストアの食品を考える上でのキーワードが「便利さ」であることに気付かせ、自分の生活とコンビニとの関わりについて具体例を挙げさせる。	学習プリント に取り組み、コンビニエンスストアの食品を考える上でのキーワードや自分の生活との関わりについて考える。	【言語事項】 ・キーワードに注意しながら、他者の意見を、それについての自分の考えを、それらの中心となる重要語句を用いて書いている。(学習プリント の分析)
(10分)	学習プリント 「環境問題と『食べる』ことの関わりについて、他者の意見を聞いて自分の考えを深めよう」を配布してプリントの使い方を説明し、それにかかわる学習資料 (ビデオ、説得力のある意見) を提示する。 * このプリントは、学習資料 (ビデオ) を観て、その中でインタビューされるコンビニ店長の意見、事実、立場について考え、その上で自分の考えを書き、さらに話し合いをするためのものであることを説明する。 * 学習資料 は、中学生が内容を理解し、書き取りしやすいうように、意見、事実、立場、各々の場面冒頭にそれらのタイトルを示す文字画面を挿入してある。 * 学習資料 の意見、事実、立場を書けなかった学習者には、文字画面を印刷したカードを用いて支援する。	学習プリント についての説明を聞き、学習内容について考えた上で、学習資料 を観て、「意見～売れ残った商品は処分する」「事実～便利さを客が求める」、「立場～客の気持ちに応える店長」といった、それぞれの自分の考えを学習プリント に書く。	
日常化 一般化 (5分)	本時の学習内容を確認する。 次時は、学習資料 (ビデオ) を提示することを話す。 他者の話を聞いて自分の考えを深められるのは、日常的な生活の中でも体験できることを話す。 本時の活動を次時の活動に生かせるように学習プリント を回収し、検証する。	本時のまとめを聞いて本時を振り返る。 次時の活動について知る。	



【本時案】

第3時（発想や認識をもつ学習活動B）

(1) ねらい

課題について、他者の意見を聞いて自分の考えを深める。

(2) 準備

(教師) 学習プリント (生徒に返却する)、話し合いの手引き(学習プリント 裏面)、
学習資料 (約6分のビデオ資料 説得力のある意見)

(生徒) 筆記用具、ノート

(3) 展開(7時間中3時間目)

過程 (時間)	学習指導()及び留意点(＊) 十分満足とする状況・態度の児童への支援()	学 習 活 動	具体的評価規準 (評価方法)
確認・ 意欲付 け (5分)	前時を振り返って、コンビニエンスストアの店長の意見と、その根拠としての事実や立場について学習したことを確認する。 ＊前時の学習プリント を返し、生徒にそれを読み返すよう話した後で、前時の学習内容を確認する。 本時では、別の他者についてのビデオ映像を観て、前時と同様の学習を行い、他者の意見から自分の考えを深めることが学習のめあてになることを話す。	前時を振り返る。 本時のめあてを知る。	
展 開 (15分)	環境問題について、他者の意見を聞いて自分の考えを深めよう。 学習プリント 「環境問題と『食べる』ことのかかわりについて、他者の意見を聞いて自分の考えを深めよう」を配布後、プリントの使い方を説明し、それにかかわる学習資料 (ビデオ、説得力のある意見) を提示する。 ＊学習資料 は、同 と同様に配慮され制作されたもので、インタビューされるのは、有機農業の実践家である。 ＊内容の中心となるキーワードを、学習資料 の内容から考えて書くように話す。 ＊学習プリント に、学習資料 の意見、事実、立場を書けなかった学習者には、文字画面を印刷したカードを用いて支援する。	学習資料 を観て、「意見～コンビニに食品は環境問題を生み出している」「事実～まだ食べられる食品を捨てることで生ごみを増やしている」「立場～環境問題を考えて有機農業に取り組む」といった、それぞれに内容と、自分の考えを学習プリント に書く。 学習プリント に記述した後で、必要に応じて話し合いの手引きを用いて、学習資料 及び についてグループで話し合い活動を行い、考えを深め合う。	【関・意・態】 ・他者の意見について話し合い活動で自分の考えを発表したり友達の考えを聞くことしたりして。(学習プリント の分析・話し合いの様子の観察) 【書く能力】 ・自分の意見を持ち、他者の意見の内容とその2種類の根拠について考え、学習プリント に書いている。(学習プリント の分析) 【言語事項】 ・キーワードに注意しながら、他者の意見や、それについての自分の考えを、それらの中心となる重要語句を用いて書いている。(学習プリント の分析)
(10分)	学習資料 及び の内容について話し合いをさせる。 ＊話し合いの基本は特定のルールを設けない自由な意見交換が望ましい。だが、話し合いが進行しにくいグループは、話し合いの手引きに基づいて話し合ってもかまわない。そういった話をしてから、手引きの使い方について説明する。		
(5分)	＊話し合いがうまく進められないグループを支援する。 各グループで話し合った結果を全体で発表させる。		
(10分)	発表された内容を黒板でまとめ、必要と思われる内容をプリント の「話し合って分かったこと」に書くよう話す。 ＊自分で考えたことや話し合って分かったことが、自分で書く文章の重要な一部になる可能性があることを話す。	話し合った結果を全体に発表し、互いに聞き合い、考えを深め合う。 板書の内容を理解したり、プリントに書き写したりしながら、自分の考えをより深める。	
日常化 一般化 (5分)	本時の学習内容を確認する。 次時は、これまでの学習内容を基にして、環境問題について、改めて自分の意見をもつ学習が行われるので、各自で環境問題についての資料を持ち寄るよう話す。 ＊自分の意見をもつ際、考えの広がりや深まりに応じて、「食べる」ことに限定せず、環境問題全般を考えてもよいことを話す。さらに、それに関連して、次時の授業の最初に、本時のビデオの続きを見ることについて話す。 他者の話を聞いて自分の考えを深められたら、それを言葉にすることで自分の考えがより明確になること、それが生活をより良いものにするなどについて話す。 本時の活動を次時の活動に生かせるように学習プリント を回収し、検証する。	本時のまとめを聞いて本時を振り返る。 次時の活動について知る。	



【本時案】

第4時 (事柄や意見をを考える学習活動及び、選材に取り組む学習活動)

(1) ねらい

これまでの学習内容を踏まえて、環境問題について、より深められた意見をもつ。

(2) 準備

(教師) 学習プリント (生徒に返却する)、学習プリント 「課題について、より深めた意見をもとう」、

学習資料 (約4分のビデオ資料 これまでの学習を振り返るヒント)、

(生徒) 学習プリント、筆記用具、ノート、課題についての資料

(3) 展開 (7時間中の4時間目)

過程 (時間)	学習指導 () 及び留意点 (*) 十分満足とする状況・態度の児童への支援 ()	学習活動	具体的評価規準 (評価方法)
確認・意欲付け (5分)	<p>学習プリント を配布する。</p> <p>学習資料 (約4分のビデオ資料 これまでの学習を振り返るヒント) を示して前時の学習内容を確認する。</p> <p>* 学習資料 は、学習資料 (有機農業) に続く内容で、前時の農家の方がフロン回収機を政策する会社の社長を紹介するところから始まり、有機農業の実践家の考えと共通する考えをもつ会社社長が自分の仕事について語る内容であることを説明する。</p> <p>* 学習資料 は、同 の内容を確認しながら考えを広げるためのもので、意見、事実、立場という構成をとっておらず、学習プリントへのメモは、各自の判断で行うことなどを話す。</p> <p>学習資料 と前時の同 の共通点から、環境問題についてのキーワードが「もったいない」(まだ使える物を無駄にしない)であることを確認する。</p> <p>本時のめあては、これまでの学習内容を踏まえて、環境問題について、改めて自分の意見をもつことであることについて話す。</p>	<p>前時を振り返る。</p> <p>学習資料 を観て、指導者の話を聞き、本時のめあてを知る。</p>	
展開 (5分)	<p>環境問題について、改めて自分の意見をもとう。</p> <p>学習プリント の学習資料 (コンビニ) と同 (有機農業) の記述を読んで、自分の考えを振り返らせる。</p> <p>* コンビニの「便利さ」は、それを求める消費者である自分の気持ちから生まれたことを確認し、それについて、どう思うか、また、環境問題を考えるキーワード「もったいない」という思いは、自分の気持ちの中にあるか考えさせる。</p>	<p>学習プリント に書いた内容を読み返し、自分が考えしてきたことを振り返る。</p>	<p>【関・意・態】</p> <p>・「意見を裏づける事実」と「意見を支える立場」を踏まえて説得力のある意見をもとうとしている。(学習プリント)</p>
(10分)	<p>学習プリント 「課題について、より深めた意見をもとう」を配布し、学習プリント の記述を振り返って、環境問題についてより深められた意見をもたせ、相手意識についても考えさせる。</p> <p>* 環境問題について、「食べる」ことに限定せず、自分の意見をもち、その立場、意見を伝えたい相手について考え、学習プリント に書くよう話す。</p>	<p>学習プリント 「課題について、より深めた意見をもとう」に取り組み、環境問題について、学習プリント の記述を振り返りながら、自分の意見をより深めて、根拠としての立場について改めて考え、さらに、意見を伝えたい相手についても考え書く。</p>	<p>【書く能力】</p> <p>・「意見を裏づける事実」と「意見を支える立場」を踏まえて説得力のある意見を書いている。(学習プリント)</p>
(15分)	<p>これまでの学習内容や、自分で探した材料及び、図書室、パソコン室などで収集した材料などから、自分の意見を裏付ける事実を探し、その結果を学習プリント にメモするよう話す。</p> <p>* 資料の見付け方が分からない生徒に、アドバイスする。その際、司書教諭に協力してもらう。</p> <p>* パソコンの使い方が分からない生徒にアドバイスする。</p> <p>* 学習者に個別に声かけをしながら、学習プリント の記述内容についてアドバイスする。</p>	<p>自分の意見を裏付ける事実を探し、材料を収集をする。</p>	<p>【言語事項】</p> <p>・重要語句に注意しながら、自分の意見を書いている。(学習プリント の分析)</p>
(10分)	<p>自分の意見や、その根拠となる事実と立場について、生徒同士で意見交換し、互いのものの見方や考え方を広げたり深めたりするよう話し、学習プリント の、意見、事実、立場及び相手について、見直すよう話す。</p>	<p>話し合い活動を経て、学習プリント に再び取り組み、意見、事実、立及び相手について考えを深めて書く。</p>	
日常化一般化 (5分)	<p>日常生活の中で他者の意見を理解した上で、自分の考えを深めて意見をもつことが大切であるということについて話す。</p> <p>本時の活動を次時の活動に生かせるよう学習プリント と の再挑戦を回収し検証する。</p>	<p>次時の活動について知る。</p>	



【本時案】

第5時（構成と記述に取り組む学習活動）

（1）ねらい


自分が書く文章の構成や材料の配列と、それともなう「つなぎ言葉」について理解する。

（2）準備

（教師）学習プリント（生徒に返却する）、同「自分が書く文章の構成や材料の配列・言葉遣いについて考えよう」
国語便覧（「最新国語資料集」明治図書）、学習の手引き「構成を考える学習の手引き」

（生徒）筆記用具、ノート、学習プリント、国語便覧（「最新国語資料集」明治図書）

（3）展開（7時間中の5時間目）

過程 (時間)	学習指導()及び留意点(＊) 十分満足とする状況・態度の児童への支援()	学習活動	具体の評価規準 (評価方法)
確認・ 意欲付 け (5分)	学習プリントを返す。 学習プリント「自分が書く文章の構成や材料の配列・言葉遣いについて考えよう」を配布し、本時は、自分が書く文章の構成や材料の配列・接続語等について考えることが学習内容であることを話す。	前時を振り返る。 本時の目当てを知る。	
展 開 (10分) (30分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自分が書く文章の構成や材料の配列、 言葉づかいなどについて考えよう。</p> </div> <p>国語便覧の「意見文の書き方」と「課題作文の書き方」と「構成を考える学習の手引き」について説明する。</p> <p>＊序論・本論・結論の3段落構成が書きやすいことを話し序論は問題提示と相手を、本論は事実とそれに続いて立場を、結論は意見を書くときとまとめやすいことを説明する。</p> <p>＊本論の各小段落や結論の冒頭に適切な接続語や指示語などの「つなぎ言葉」を用いると読みやすい文章が書けることを、構成を考える学習の手引きを用いて説明する。</p> <p>＊各段落の冒頭用いる「つなぎ言葉」の働きによって、序論・本論・結論にならない場合には、他の構成があることについて考えさせる。</p> <p>学習プリント（構成等）に取り組みさせる。</p> <p>＊自分の考えを、どのような構成で書いたらよいか分からない学習者には、これまでの学習プリントを振り返らせて、個人的にアドバイスをする。</p> 	<p>国語便覧についての説明を聞き、それについて考える。</p> <p>学習プリント「自分が書く文章の構成や材料の配列・言葉遣いについて考えよう」に取り組む。</p> <p>＊主に序論・本論・結論の3段落構成などで、自分が書く文章の構成を考える。</p> <p>＊序論・本論・結論それぞれの内容を考えて、学習プリントに記述する。</p> <p>＊本論の各小段落や結論の冒頭に用いる適切な接続語を考えて書く。</p>	<p>【関・意・態】</p> <p>・国語便覧を、自分の書く文章の構成や材料の配列に役立てようとしている（観察・学習プリントの分析）</p> <p>【書く能力】</p> <p>・文章の構成や材料の配列などを考えて書いている。（学習プリントの分析）</p> <p>【言語事項】</p> <p>・論理的な構成に必要な接続語等を選んでいる。（学習プリントの分析）</p>
日常化 一般化 (5分)	<p>国語の学習に限らず、自分の考えを相手に伝えるために文章を書く時は、構成を考えて書くことが大切であることを話す。</p> <p>次時は、下書きについて学習することを話す。</p> <p>＊授業時間内で、構成について十分に考えられなかった授業者は、次時までに学習プリントに指導者がアドバイスを記述しておくため、それを参考にして次時の学習を進めることができることを話す。</p> <p>本時の活動を次時の活動に生かせるように学習プリントを回収し、検証する。</p>	次時の活動について知る。	

【本時案】

第6時 (記述と推敲に取り組む学習活動)

(1) ねらい


学習プリント で考えた構成を基にして、下書きをする。

(2) 準備

(教師) 学習プリント (生徒に返却する)、同 「下書きをしよう」、国語便覧(「最新国語資料集」明治図書)、推敲の手引き

(生徒) 筆記用具、ノート、学習プリント ~、国語便覧(「最新国語資料集」明治図書)、国語辞典

(3) 展開 (7時間中の6時間目)

過程 (時間)	学習指導()及び留意点(＊) 十分満足とする状況・態度の児童への支援()	学 習 活 動	具体的評価規準 (評価方法)
確認・ 意欲付 け (5分)	学習プリント を返す。 前時は学習プリント で材料の配列や言葉遣い、構成などに取り組んだこと、回収したプリントを読んで授業者が気付いたことなどについて話す 本時は、下書きの続きに取り組むことを話す。	前時を振り返る。 本時の目当てを知る。	
展 開 (10分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学習プリント で考えた構成を基にして、自分の意見や、その根拠、意見を伝えたい相手などをまとめて下書きをしよう。</p> </div> <p>学習プリント 「下書きをしよう」(原稿用紙の形式)を配布し、これまで学習プリントを元にして下書きをすること、下書きが終わったら、「推敲の手引き」と国語便覧を活用して、推敲することを話す。 ＊国語便覧を基にして、既習事項である原稿用紙の使い方について確認する。 ＊学習プリント で考えた構成から、全体が5段落～6段落程度になること、学習内容を考えると、一段落は、6行～9行程度になることなどについて話し、これから書く文章の長さについて目安をもたせる。 ＊文章を書きながら、必要に応じて国語辞典を引くよう話す。 ＊推敲の仕方を理解しておく、下書きをしながら、自分の文章の書き方について、深く考えられることを話し、推敲の仕方についても、国語便覧と手引きを用いて説明する。</p>	国語便覧の「推敲の仕方」「原稿用紙の使い方及び、「推敲の手引き」について説明を聞き、その内容を理解する。	<p>【関・意・態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を文章で書き、下書きをしようとしている。(観察) <p>【書く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章を書くためにふさわしい表現を考えて書いている。(学習プリント の分析) <p>【言語事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を表現するのに必要な論理的な言葉遣いを考えている。(学習プリント の分析)
(30分)	<p>学習プリント (下書き)に取り組ませる。 ＊前時で取り組んだ学習プリント に指導者が記述したアドバイスを十分に理解できない学習者には、個別に声かけをして理解を促す。 ＊文章を上手く書き進められない学習者には、個人的にアドバイスをする。</p>	これまでの学習プリントを基にして学習プリント 「下書きをしよう」に取り組む。	
日常化 一般化 (5分)	<p>推敲は、国語科の学習に限らず、日常生活でも行うべきことで、将来、社会に出て役立つことである、という話をする。 次時は、下書き、推敲の学習を続け、推敲が終わった学習者同士で文章を文章を読み合い、互いにアドバイスをし合うことについて話す。 ＊互いの文章を読み合い、「良いところ」「疑問に思うところ」「直した方が良いと思うところ」を指摘し合う学習内容であることを説明する。 本時の活動を次時の活動に生かせるように学習プリントを回収し、検証する。</p>	<p>本時の活動を振り返る。 次時の活動について知る。</p>	

【本時案】

第7時 (評価・批評に取り組む学習活動)

(1) ねらい

自分の意見を文章にまとめ、さらに推敲する。互いの下書きを読み合ってアドバイスやメッセージを送り合い、それを参考にしてさらに推敲を重ね、清書をする。

(2) 準備

(教師) 学習プリント (生徒に返却する)、同 「友達からメッセージをもらおう」、同 「清書をしよう」、
学習の手引き「友達へのメッセージの手引き」
国語便覧(「最新国語資料集」明治図書)、国語辞典

(生徒) 学習プリント ~、ノート、筆記用具、国語便覧(「最新国語資料集」明治図書)、国語辞典

(3) 展開(7時間中の7時間目)

過程 (時間)	学習指導()及び留意点(＊) 十分満足とする状況・態度の児童への支援()	学 習 活 動	具体的評価規準 (評価方法)
確認・ 意欲付 け (5分)	学習プリント を返し、同 「友達からメッセージをもらおう」と「友達へのメッセージの手引き」を配布する。本時は、下書き、推敲を終わらせ、友達同士で下書きを読み合い、メッセージを伝え合うことで、それを参考にして、さらに推敲を重ね、清書にも取り組む学習を行うことを話す。	前時を振り返る。 本時のめあてを知る。	
展 開 (20分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・下書きを仕上げ、推敲をし、題名を決めよう。 ・推敲が終わったら、互いの下書きを読み合ってアドバイスやメッセージを伝え合い、それを参考にしてさらに推敲しよう。 ・最後に清書に取り組もう。 </div> <p>下書き、推敲の続きをして、題名を決めるよう話す。また、それらが終わった学習者から、学習プリント の下書きを互いに読み合い、アドバイスやメッセージを送り合っ、それを参考にしてさらに推敲を重ねよう話す。</p> <p>* 推敲をしながら、必要に応じて国語辞典を使うよう話す。</p> <p>* 学習プリント 「友達からのメッセージ」と学習の手引き『「友達へのメッセージ」の手引き』を配布し、互いに読み合う学習について説明する。</p> <p>* 友達へのメッセージは、A「良いと思ったところ」、B「意味を理解しにくいと思ったところ」、C「ここは、こう直すともっとよくなると思ったところ」の3種類に分けられていることを話す。</p> <p>* Aは感感を、Bは「どんな点が分かりづらいか」を、また、Cの場合は「どう直したらよいかの例」を書くこと、それらの中から自分で書きやすいと思うものを選んで書くことを話す。</p> <p>* 友達へのメッセージは、出来る範囲で無理をせず、書けることを書くように話す。</p> <p>* 読み合いは、推敲が終わった学習者同士で行うよう話し、さらに、3人以上の人からメッセージをもらうことを目標にするように話す。</p>	<p>学習の手引きについて説明を聞き、その内容を理解する。</p> <p>推敲が十分にできたか確認するために、学習プリント を読み返し、題名を決める。</p> <p>学習プリント を互いに読み合い、アドバイスやメッセージを送り合うことで、さらに推敲を重ねる。</p>	<p>【関・意・態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を書いた文章を推敲しようとしている。(観察) <p>【書く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章を書くためにふさわしい表現を考えて推敲したりしている(学習プリント の分析) <p>【言語事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を表現するのに必要な論理的な言葉遣いを考えて推敲している。(学習プリント の分析)
(20分)	<p>* メッセージを上手く書けない学習者には、個人的にアドバイスをする。</p> <p>学習プリント「清書をしよう」を配布し、友達からのアドバイスを参考にした推敲が終わった学習者から、清書をするよう話す。</p> <p>* 清書が上手く進められない学習者には、個人的にアドバイスをする。</p>	<p>学習プリント に取り組み清書をする。</p>	
日常化 一般化 (5分)	意見交換をすることで、考えを深め合うことは、日常生活にも役立てることができる、ということについて話す。本時の活動をこれからの活動に生かせるように学習プリント を回収し、検証する。		

